

芦屋市特殊詐欺等対策電話機等購入補助金交付申請書兼請求書

年 月 日

芦屋市長 宛

申請者 住 所 〒 _____

ふりがな

氏 名 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____@_____

芦屋市特殊詐欺等対策電話機等購入補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請及び請求します。

補助対象経費	購入額 _____ 円・・・①
補助対象種別	<input type="checkbox"/> 自動録音電話機 <input type="checkbox"/> 外付け録音機
補助対象機器を設置した電話番号	— —
65 歳以上の者の氏名・生年月日	ふりがな 氏 名 _____ 大正・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 下記の添付（提出）書類 4 の令和 7 年 3 月 31 日時点において、65 歳以上の者の氏名・生年月日を記載ください。
補助額	補助額 _____ 円・・・(①の 100 円未満切り捨て) <u>上限：自動録音電話機 10,000 円、外付け録音機 5,000 円</u>
購入機器	メーカー名： _____ 品 番： _____
添付（提出）書類 添付した場合は、 チェック欄に <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 1 補助対象機器を購入したことを証する書類（領収書等） <input type="checkbox"/> 2 補助対象機器の機能が確認できるカタログまたは取扱説明書（防犯機能が確認できるページ）の写し <input type="checkbox"/> 3 振込先口座番号（申請者本人の口座）及び口座名義人が確認できる書類（通帳、キャッシュカード等）の写し <input type="checkbox"/> 4 令和 7 年 3 月 31 日時点において、65 歳以上の者の住所、氏名及び生年月日が確認できる本人確認書類（免許証、マイナンバーカード等）の写し <input type="checkbox"/> 5 申請者が 65 歳以上の者と同一世帯の者の場合、申請者の住所、氏名が確認できる本人確認書類（免許証、マイナンバーカード等）の写し <input type="checkbox"/> 6 その他（ _____ ）

※ 1～4 は必須です
 ※ 5、6 は必要な場合は添付してください

裏面に続く

【振込口座】 申請者本人の口座に限ります。

金融機関名 (ゆうちょ銀行を除く)	支店名	種類 (一方に○)	口座番号 (右詰めでご記入ください)						口座名義人 (カタカナ) ※申請者のみ
銀行・信用金庫 農協・労働金庫 信用組合		1.普通 2.当座							

下記は、ゆうちょ銀行への振込を希望する方のみ記載してください。

ゆうちょ銀行 (郵便局) (通常貯蓄預金への振込はできません)	記号			番号						口座名義人 (カタカナ) ※申請者のみ	
ゆうちょ銀行を選択された場合は、貯金通帳の見開きの左上、またはキャッシュカードに記載された記号・番号をご記入ください。	1		0	—							1

※口座名義人は、必ずカタカナで記載してください。

誓約書

(補助金申請にあたり必ず守っていただく事項です。守られなかった場合は、補助金を返還していただく場合があります。)

- 補助対象機器を購入後、6年は芦屋市の承認なしに譲渡、交換、売却、貸付け、担保に供しません。
- 申請者の個人情報等について、芦屋市が関係機関等 (税務情報等) に照会することに同意します。
- 申請時点において、申請者または同一世帯に属する者が、芦屋市又は兵庫県警察から特殊詐欺等対策電話機等の貸与を受けておりません。
- 同一世帯に属する者が、当該補助金を利用して特殊詐欺等対策電話機等の購入しておりません。(申請中も含む)
- 芦屋市暴力団排除条例 (平成 24 年芦屋市条例第 30 号) 第 2 条第 2 号に定義する暴力団員ではないこと。また、同条例第 2 条第 3 号に定義する暴力団または暴力団員と密接な関係を有する者ではないことを誓います。

年 月 日

申請者氏名

(自署または記名押印)

印

以下、市記載欄

通番

- 着信前自動警告機能 自動録音機能
 口座確認